

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 今宿

作成日: 令和 3 年 3 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	理念を玄関、フロアに掲示しているが、理念を取り上げて確認したり振り返る機会を特には設けていないため、改めて理念を日々の介護サービスに繋げることが出来るよう具体的な取り組みを検討していく。	毎週月曜日の朝礼時や月1回の職員会議等の機会に理念を確認し、理念に沿ったサービスが提供出来ているかを振り返る機会を設けていく。また、理念を基に、ユニット毎の目標を立てる等して、理念を具体化して積み重ねていくことで理念の実現に繋げていく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	コロナ収束後を見据え、2階の地域交流スペースの活用に向けて意見や提案を出し合い、このスペースを最大限に生かし、有意義に活用できるよう、準備していく。	広報誌や回覧板、掲示物等で、2階のスペースの活用に向けて発信を続け、コロナ収束後には、地域の拠り所となるよう、地域住民ともアイデアを出し合い活用に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。